

大会ルール

フィールド

- 野外球場：硬い平面に整地されたグラウンドを使用（草や柔らかい土ではない）
- 屋内球場：体育館、倉庫、駐車場
- ファウルライン150feet（45.72m）以上、直線180-220feet（54.86-67.06m）
- ダイヤモンドは塁間50feet（15.24m）、本塁から2塁まで70feet,8.5inches（21.55m）とする。
- 本塁から2塁の線分上で本塁から28feet（8.53m）の位置に幅2feet（61cm）のピッチャープレートを置く。
- ベース：2塁は直径4feet（1.22m）の白い円、1、3塁は直径4feet（1.22m）の白い半円とする。1塁のみ駆け抜け用ベースをファウルゾーンに設置する。駆け抜け用のベースは、24inches（61cm）四方の白いベース。
- 制限ラインは各塁から12feet（3.66m）で1塁から2塁、2塁から3塁のベースラインに平行にひかなければならない。
- 外野はホームから半径100feet（30.48m）の円で、ファウルラインからファウルラインまでの範囲とする。

用具

- 参加者は全員、フットプラットフォームのついた車椅子を使用する。
- ボールは16インチソフトボールを使用する。

ルール

- 1チーム10人の選手で試合を行う。
- 5回10点コールドとし、最大7イニングまでとする。
- 審判は2人制とし、塁審、球審各1名とする。
- 全打席1ストライク1ボールから開始する。
- 2ストライク後のファウルはアウトとする。

〈攻撃〉

- キャスターや後輪も含めた一つ以上の車輪がベースに触れていれば触塁とみなす。転倒防止のキャスターは車輪として含まない。
- 走者は、車椅子に座っていなければならない、ベースタッチは一つ以上の車輪または手でベースに触れている場合のみとする。
- ランナーが車椅子から落ちた場合、その場所から再度乗らなければならない。またベース上で落ちた場合、体の一部が車椅子に触れていれば、ベース上にいると判断される。
- 走者は地面や他者の車椅子が止まる場所に手足を出してはいけない。もしもした場合は、

ディレードデッドボールとなる。

- 打者は打つときに地面に下肢を接触させてはいけない。接触させた場合はボールデッドになり、打者はアウトとなる。走者は元のベースに戻らなければならない。

〈守 備〉

- 投球ボールが投手の手から離れるまで、すべての内野手は内野制限ライン上またはそのラインより内側にいなければならない。違反した場合、審判はすぐに打者を1塁に進める。その違反は、フォアボールとみなす。
- 投球ボールが投手の手から離れるまで、SFを除く全ての外野手は外野制限ラインより後ろにいなければならない。
- 野手は地面に足をつけた状態でプレイをしてはいけない。もしも地面に付いた場合でも、足を元に戻してからプレイを再開することが出来る。違反をした場合はJSAのルールに従ってディレードデッドボールとなる。
- 選手が車椅子の座席から臀部が離れている行為をリフティングといい、不正行為とし、JSAのルールに従ってディレードデッドボールとなる。

以下、日本ソフトボール協会のルールに準ずる。

